

「直営社員食堂における食生活改善活動」

取り組み point

- 健康管理部門と連携して有所見者に対して個別メニュー対応を一部実施



- 「手引き」で紹介した野菜摂取推進のための取組を実施



- 「社員食堂モニター制度」を設けて、定期的に社員（モニター）と食堂担当者（管理者、調理師、管理栄養士）が食堂の運営などについて意見交換を行っている



事業所の概要

衣料品・服飾雑貨などを中心に扱う総合卸売商社。従業員数は約800人で、うち女性は約7割を占めており、年齢構成では若年層が多く20代、30代が約7割を占めている。直近の健康診断結果では女性の若年層はやせ傾向で貧血、男性は脂質異常症、高血圧症など生活習慣病に関する所見が目立つようになってきている。

食堂の概要

（営業形式）直営

- ・ 食堂の営業時間は昼中心に、10:00～14:00となっている。
- ・ 配膳形式はカフェテリア形式となっており、主菜2種類、副菜2種類、汁物、サラダ、麺類、単品アラカルトから選択するようになっている。
- ・ 食堂規模は卓数で、50卓程度である。
- ・ 喫食率は社員食堂での喫食を義務化しているため100%となっている。

取組内容

取組の背景

従業員の健康管理に対する会社の意識は高く、健康管理部門として直営のクリニックを備えており、従業員食堂も直営で運営されている。従業員に栄養バランスのきちんとした食事を摂取させる方針から、昼食の社員食堂利用の義務化等も行っている。各種取組もこのような流れの中で取り組まれた。従業員食堂での取組を評価されて、東京都知事賞・厚生労働大臣賞を受賞している。

取組内容

① 各種栄養情報の提供、取組の実施

自作ポスターや、卓上メモでの定期的な栄養情報等の提供に加え、メニューケース前での推奨メニュー（当日のメニューのうちバランスの良い組み合わせの展示）など積極的な情報提供に取り組んでいる。

② 健康診断有所見者に対して個別メニュー対応を実施

直営クリニックから送られてくる「栄養相談連絡表」に基づき、医師の指示の下、食堂では有所見者について個別のメニュー対応を行っており、現在7名に対応している。基本的には既にある提供メニューを組み合わせているが、既存メニューで対応できない場合は別途献立を作っている。また、食堂の管理栄養士が、月に1回の栄養相談を行っており、個別に食事内容をヒアリングし、栄養相談を行っている。

③ 「社員食堂モニター制度」の設置

福利厚生部門として食堂の担当者全員と、代表社員数名で組織される社員食堂モニター会を年5回開催している。検討内容は、食堂にかかわる全般の事項にわたり、食堂環境やメニューへ要望だけでなく、栄養情報など提供方法についても検討している。また代表社員は個人の意見を述べるだけでなく、職場での意見を集約する仕組みになっている。検討結果は社内イントラネットや食堂にある卓上メモで公開されている。

④ 「手引き」で紹介した野菜摂取推進のための取組を実施

2005年度に野菜等健康食生活協議会が進める事業の協力企業として野菜摂取推進活動に取り組み、野菜を中心とした情報提供（卓上メモ、リーフレット、ポスターなど）や野菜をテーマにしたイベント（「野菜を食べて美肌になろう」など）を行った。

取組の効果と展望

2008年度以降の特定健診制度を見据えて、健康管理部門（健康保険組合）との連携を進め、栄養指導の機能を充実させていきたい。2005年度に野菜摂取推進活動に取り組んだことにより、食生活改善活動のイベントやフェアを食堂で行っていくスキルがアップした。テーマを絞り、短期集中型の情報提供を行うと効果が高いことが分かった。今後も更に積極的な情報提供を行う予定である。

個別の栄養指導



栄養情報の提供



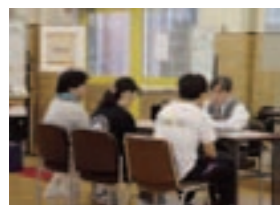
「給食業者が行う食生活改善活動 —野菜を中心とした取組」

取組み point

- ヘルシーランチ・栄養展示会など本部提供の取組が豊富



- 野菜摂取のためのイベント「健康応援フェア」の定期開催



企業の概要

大手製造企業の関連給食業者。関係会社の事業所・工場などを中心に全国71箇所の従業員食堂の運営を受託している。提供食数は1日約55,000食。最近ではコントラクト事業だけでなくスポーツ施設の運営や、介護支援など事業の多角化を推進している。

食生活改善活動の基本的考え方

健康管理は社員食堂の取組として必要不可欠と考えている。一般外食は「安くて、美味しい」が基本であるが、従業員食堂では「健康管理」が加わる。バランスの良いメニューの提供と食事バランスガイドを活用した情報提供を大きな柱として取り組んでいる。

取組内容

取組内容

① ヘルシーランチの提供（通年）

従来は実際に糖尿病など疾患のある人を対象に・平均650kcal、・野菜150g以上のヘルシーランチの提供を行ってきた。現在は生活習慣病予防的な意味から全ての人を対象に提供を推進しており、提供事業所数も増加傾向にある。

② 栄養展示会の開催（年1回）

基本的に年に1回テーマを決めて開催しており、クライアントの食堂で・パネル展示、・フードモデルを用いたクイズの実施などを行っている。

③ 講演会、セミナーの実施

各事業所の要望に応じて、健康・栄養等をテーマにした講演会・セミナーを開催している。

④ 卓上メモによる情報提供の実施（常設）

栄養キャンペーン以外に常設の卓上メモがあり、月に1回交換し、栄養情報の提供を行っている。

⑤ 健康応援フェア（野菜イベント）の実施（3ヶ月に1回）

一部の食堂では2005年から生活習慣病予防の観点から野菜の摂取量を増やすイベントを実施している。野菜に親しんで貰うことを目的としており、摂取目安量などの啓蒙はしておらず、旬の野菜の紹介とその野菜を使ったサラダバイキングを実施している。実施事業所数も増加傾向にある。

取組の効果と展望

健康管理の要望は増加しており、業界全体の流れでもあると考えている。今後も健康管理をサポートする業務を強化していきたい。

栄養展示会の一例

